

## 利用案内

回天記念館は、太平洋戦争末期に開発、使用された人間魚雷「回天」の搭乗員の遺書・遺品、関係資料などをご覧いただき、平和について考えていただくことのできる平和学習施設です。

- 開館時間 8:30～16:30
- 休館日 毎週水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）  
12月29日～1月3日

■入館料	大人	310円
	団体（30人以上）	250円
	18歳以下の学生、幼児	無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をご持参の方は無料

- アクセス
  - ・JR徳山駅新幹線口（南口）から徳山港まで徒歩約5分
  - ・徳山港から馬島港までフェリーで30～44分
  - ・高速船（直行便）で18分
  - ・馬島港から回天記念館まで徒歩約10分



## 周南市回天記念館 KAITEN MEMORIAL MUSEUM

〒745-0057  
山口県周南市大字大津島1960番地  
TEL・FAX: 0834-85-2310  
E-mail: ed-sports@city.shunan.lg.jp  
<https://www.city.shunan.lg.jp/site/kaiten>

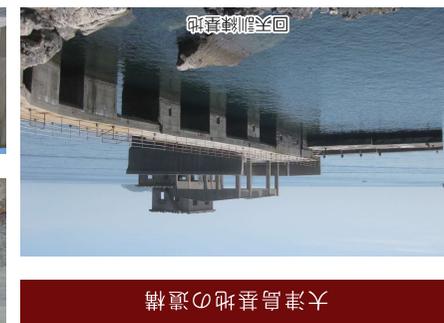
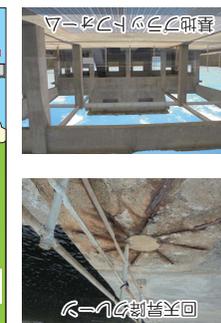
2019.12

太平洋戦争の末期、“天を回らし、戦局を逆転させる”という願いを込めて、人間魚雷「回天」は誕生しました。

この兵器は、魚雷に大量の爆薬を搭載し、人間が操縦して敵艦に体当たりするという特攻兵器で、兵器の搭乗員の訓練基地が置かれたここ大津島には、全国から20歳前後の若者が集まり、毎日厳しい訓練を繰り返しました。そして、窮地に立つ祖国を守るため、ここから出撃していきました。

今を生きる私たちは、人間魚雷「回天」の史実をここに記し、祖国と愛する人たちのために自らの命をかけた彼らの後世への想いを、永く語り継いでいかなければなりません。

## 周南市回天記念館 KAITEN MEMORIAL MUSEUM



大津島基地の遺構

## 1. 激動の時代のなかで

20世紀初頭の東アジアの国々の植民地化、満州事変、三国同盟  
日本は太平洋戦争に進んで行く

日中戦争開始から太平洋戦争に至る、国内外の状況が悪化していく様子がパネルでわかります。搭乗員の幼少期、海軍兵学校・海軍機関学校時代、軍隊入隊後の教科書や資料を展示しています。



芝崎昭七二等飛行兵曹の自啓録

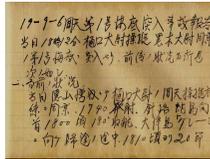


学徒出陣時に贈られた日の丸

## 2. 祖国を救うために

ミッドウェイ海戦で海軍敗北、ガダルカナル島から陸軍撤退、厳しい戦局を挽回するため、特攻兵器「回天」が誕生した

回天の誕生に関わった兵士の思い、搭乗員の出身母体をパネルで紹介しています。飛行予科練習生を対象にした搭乗員の募集要項、回天が海底に底着した事故で殉職した黒木博司大尉が回天内で事故を記録したノート、戦死した搭乗員などの遺影を展示しています。



事故を記録したノート



回天烈士遺影

## 3. 基地での生活

九三式酸素魚雷の発射試験場のある大津島に、回天訓練基地が開設された

基地の配置、訓練を行った海域、訓練内容がわかるジオラマのほか、実物の回天のハッチや潜望鏡を展示しています。2006年公開の映画「出口のない海」で撮影に使用されたロケセットは、アメリカに残る実物を参考に操縦室内を忠実に再現しています。

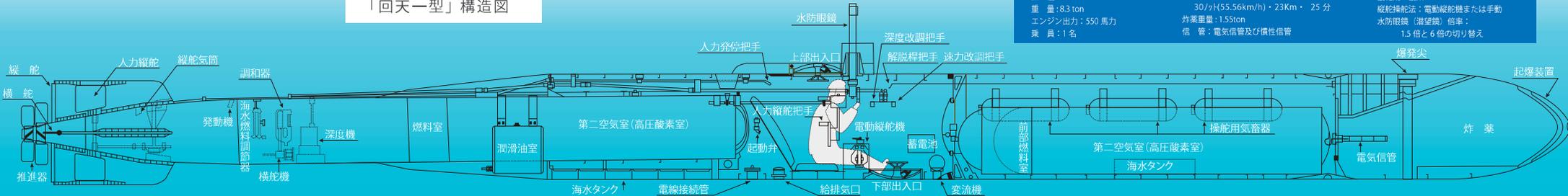


ハッチ



回天の操縦席（ロケセット）

## 「回天一型」構造図



## 4. 出撃

訓練を開始した搭乗員は、早ければ2か月後に出撃していった

隊名、出撃場所、本土決戦に備え配備された基地回天隊の展開場所を図表で示しています。出撃前の短刀授与式、鉢巻受領、記念撮影時の品物や写真を展示しているほか、装置で搭乗員の肉声を聞くことができます。



短剣



出撃する搭乗員

## 5. 戦後社会と回天

終戦後、極秘であった回天の情報が一般の国民に報じられ始めた

連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）のもと復興を目指す混乱期の日本を紹介しています。厳しい国民生活の中、回天に関する報道が始まり、搭乗員を顕彰する活動が開始していく様子が新聞記事や写真からわかります。



◀初代回天碑（昭和20年11月10日建立）  
 ▶回天を報じた中国新聞（昭和20年10月5日）



有志による初の慰霊祭▶

## 6. 新たな時代に向かって

国際連合が発足し、各国で平和に向けた取り組みを始める中、回天記念館が完成した

回天記念館の建設と搭乗員の遺品収集を目的とした回天顕彰会の発足（昭和37年）、回天記念館の完成式典（昭和43年）、平和の尊さを伝えていくための追悼式（毎年11月）の様子を、写真などで紹介しています。



回天記念館完成式典

## 7. 平和を願う回天のこころ

搭乗員の思いを語り継ぎ、平和への努力を続けていかなければならない

搭乗員のメッセージをパネルで紹介しています。